



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年7月31日

上場会社名 DM三井製糖ホールディングス株式会社 上場取引所 東  
コード番号 2109 URL <https://www.msdm-hd.com/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森本 卓  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 森 雅彦 TEL 03(6453)6161  
四半期報告書提出予定日 2023年8月7日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	42,358	8.1	501	△24.0	5,272	457.4	5,549	677.1
2023年3月期第1四半期	39,194	3.9	659	△41.9	945	△35.8	714	△77.1

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 5,616百万円 (200.5%) 2023年3月期第1四半期 1,868百万円 (△53.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	171.96	-
2023年3月期第1四半期	22.13	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	195,517	115,272	56.2	3,405.03
2023年3月期	196,123	112,578	54.6	3,321.09

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 109,884百万円 2023年3月期 107,176百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	30.00	-	90.00	120.00
2024年3月期	-	-	-	-	-
2024年3月期(予想)	-	60.00	-	60.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	173,300	6.1	5,000	354.5	10,000	△47.5	7,500	△5.2	232.40

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	32,639,780株	2023年3月期	32,639,780株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	368,384株	2023年3月期	368,384株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	32,271,396株	2023年3月期1Q	32,269,785株

（注）当社は、取締役に対し、信託を用いた株式報酬制度を導入しており、期末自己株式数には、当該信託口が保有する当社株式（2023年3月期1Q154,300株、2024年3月期1Q152,400株）を自己株式に含めて記載しております。また、当該信託口が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めて記載しております（2023年3月期1Q154,300株、2024年3月期1Q152,400株）。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	9
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが変更されたことなどにより、社会経済活動が正常化に向かう一方で、長期化するウクライナ情勢、原材料価格の高騰や円安傾向の強まりなどを受け、先行き不透明な経営環境が続いております。このような状況下、当社グループは、「中期経営計画-2026 Diversify into Nutrition & Health」の達成に向け、グループ全体の成長戦略「グループビジネスモデルの変革」と「経営資源の再配分」のもと、グループ内事業の最適化を図ることで、①国内砂糖事業の強靱化、②海外事業の拡大、③ライフ・エナジー事業の成長、④グループの持つ研究開発力の集積・強化及び⑤持続可能な社会実現への貢献を推進してまいりました。

なお、2023年5月1日付で、当社並びに連結子会社であるDM三井製糖(株)及び在京グループ5社の本社・事務所機能を東京都港区芝に移転・集約いたしました。各社とのさらなる連携強化を図り、グループ総合力を最大限に発揮してまいります。

### (砂糖事業)

海外粗糖相場は、1ポンド当たり22セント前半から始まり、サトウキビの最大生産国であるブラジルにおける気象不安を受けた、大幅な減産見通し報道などにより急騰し、4月後半には、約11年半振りの高値圏となる27セント半ばにまで達しました。その後、6月中旬以降は、ブラジルの供給量回復による安堵感から下落傾向に転じ、22セント後半で当第1四半期連結累計期間末を迎えました。また、国内市中相場は、期を通じて227円～229円で推移いたしました。

国内の精製糖販売は、原材料価格の高騰などに伴う食品値上げラッシュが消費者マインドに影を落とし、菓子類などにおいて需要の低迷が見られたものの、入国制限緩和によるインバウンド需要の回復を受け、売上高は前年同期を上回る実績となりました。一方、海外粗糖相場の高止まりや円安による原料費、海上運賃、包装資材及び物流費などの各種コストの増加が、引き続き利益面に大きな影響を与えております。なお、これらの各種コストを吸収するため、出荷価格につきましては、7月に1キログラム当たり12円の引き上げを実施いたしました。

国内の原料糖販売は、北海道の連結子会社における販売量減や、沖縄の連結子会社における悪天候に起因した生産量減、修繕費増による原価率の悪化などが利益面に影響を与えました。

海外では、シンガポールにおいて、販売量減による原価率の悪化などを受け減益となりました。

以上の結果、砂糖事業は、売上高35,244百万円（前年同期比5.3%増）、営業損失41百万円（前年同期は営業利益360百万円）となりました。

### 期中の砂糖市況

海外粗糖相場（ニューヨーク砂糖当限、1ポンド当たり）

始値 22.35セント 高値 27.41セント 安値 21.81セント 終値 22.89セント

国内市中相場（日本経済新聞掲載、東京上白大袋1kg当たり）

期を通じて227円～229円で推移

### (ライフ・エナジー事業)

パラチノースは、仕入単価の改善などを受け増益となりました。パラチニットは、キャンディ用途で好調に推移し、売上・利益ともに貢献いたしました。また、バイオ事業の受注増や、前連結会計年度においてテルモ(株)より事業譲受した栄養食品及び関連製品の販売に係る増益なども業績に寄与いたしました。

以上の結果、ライフ・エナジー事業は、売上高6,504百万円（前年同期比27.4%増）、営業利益348百万円（前年同期比174.7%増）となりました。

### (不動産事業)

岡山工場・長田工場跡地における賃料収入の増加が寄与し、売上高609百万円（前年同期比0.8%増）、営業利益194百万円（前年同期比12.9%増）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は42,358百万円（前年同期比8.1%増）、営業利益は501百万円（前年同期比24.0%減）となりました。

営業外損益においては、フィンゴリモド「FTY720」の開発権及び販売権の許諾に基づく受取ロイヤリティー275百万円を計上いたしました。また、連結子会社であるDM三井製糖(株)が、国内の投資先から受けた受取配当金4,457百万円を計上いたしました。持分法投資損益においては、タイ国や中国関連会社における販売量・生産量減による損益悪化の影響を受けたものの、経常利益は5,272百万円（前年同期比457.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5,549百万円（前年同期比677.1%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## 〔連結財政状態の変動状況〕

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比606百万円減少し195,517百万円となりました。連結貸借対照表の主要項目ごとの主な増減要因等は次の通りであります。

## ①流動資産

流動資産は、前連結会計年度末比184百万円減少し88,692百万円となりました。これは主として、現金及び預金の増加1,484百万円、原材料及び貯蔵品の増加1,303百万円等があった一方で、商品及び製品の減少3,062百万円等があったことによるものであります。

## ②固定資産

固定資産は、前連結会計年度末比421百万円減少し106,824百万円となりました。これは主として、建設仮勘定の増加488百万円等があった一方で、機械装置及び運搬具の減少599百万円、のれんの減少148百万円等があったことによるものであります。

## ③負債

負債は、前連結会計年度末比3,300百万円減少し80,245百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金の減少565百万円、短期借入金の減少2,276百万円等があったことによるものであります。

## ④純資産

純資産は、前連結会計年度末比2,693百万円増加し115,272百万円となりました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益5,549百万円等があった一方で、剰余金の配当2,918百万円等があったことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月15日に公表のものから変更はありません。今後の業績推移等によって、連結業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	28,002	29,486
受取手形	658	673
売掛金	13,928	13,095
商品及び製品	26,005	22,943
仕掛品	2,572	2,584
原材料及び貯蔵品	11,955	13,259
その他	5,759	6,652
貸倒引当金	△4	△2
流動資産合計	88,877	88,692
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	51,692	51,716
減価償却累計額	△33,071	△32,840
建物及び構築物 (純額)	18,620	18,875
機械装置及び運搬具	107,474	105,944
減価償却累計額	△92,588	△91,656
機械装置及び運搬具 (純額)	14,886	14,287
工具、器具及び備品	4,042	4,143
減価償却累計額	△3,130	△3,128
工具、器具及び備品 (純額)	911	1,015
土地	28,120	28,120
リース資産	2,631	2,449
減価償却累計額	△1,823	△1,732
リース資産 (純額)	807	716
建設仮勘定	501	990
有形固定資産合計	63,848	64,006
無形固定資産		
のれん	5,226	5,077
その他	4,289	4,172
無形固定資産合計	9,515	9,250
投資その他の資産		
投資有価証券	16,022	16,051
関係会社出資金	3,041	2,933
長期貸付金	19	19
退職給付に係る資産	1,415	1,433
繰延税金資産	2,079	1,963
その他	11,349	11,213
貸倒引当金	△46	△46
投資その他の資産合計	33,882	33,568
固定資産合計	107,246	106,824
資産合計	196,123	195,517

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,320	14,755
短期借入金	9,017	6,740
1年内返済予定の長期借入金	2,070	1,997
リース債務	357	307
未払費用	4,364	4,973
未払法人税等	320	296
役員賞与引当金	125	23
資産除去債務	415	376
その他	6,213	5,949
流動負債合計	38,205	35,420
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	16,060	15,615
リース債務	494	450
繰延税金負債	3,361	3,418
役員退職慰労引当金	103	79
役員株式給付引当金	35	40
退職給付に係る負債	3,589	3,611
資産除去債務	329	329
その他	1,365	1,280
固定負債合計	45,340	44,824
負債合計	83,545	80,245
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,083	7,083
資本剰余金	8,540	8,583
利益剰余金	89,136	91,768
自己株式	△724	△724
株主資本合計	104,036	106,710
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	846	989
繰延ヘッジ損益	53	△123
為替換算調整勘定	2,025	2,111
退職給付に係る調整累計額	213	197
その他の包括利益累計額合計	3,139	3,174
非支配株主持分	5,402	5,387
純資産合計	112,578	115,272
負債純資産合計	196,123	195,517

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	39,194	42,358
売上原価	32,499	35,730
売上総利益	6,694	6,627
販売費及び一般管理費		
配送費	1,795	1,783
給料及び賞与	1,446	1,440
役員賞与引当金繰入額	23	21
退職給付費用	51	52
株式報酬費用	4	4
その他	2,713	2,824
販売費及び一般管理費合計	6,035	6,126
営業利益	659	501
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	58	4,576
受取ロイヤリティー	112	276
持分法による投資利益	113	—
雑収入	86	115
営業外収益合計	372	4,970
営業外費用		
支払利息	35	81
固定資産除却損	2	7
設備撤去費	25	31
持分法による投資損失	—	32
雑損失	23	46
営業外費用合計	85	198
経常利益	945	5,272
特別利益		
固定資産処分益	1	—
投資有価証券売却益	115	911
補助金収入	406	23
特別利益合計	522	934
特別損失		
固定資産圧縮損	392	20
特別損失合計	392	20
税金等調整前四半期純利益	1,075	6,186
法人税、住民税及び事業税	378	545
法人税等調整額	△82	80
法人税等合計	295	626
四半期純利益	779	5,560
非支配株主に帰属する四半期純利益	65	11
親会社株主に帰属する四半期純利益	714	5,549



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	779	5,560
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	31	142
繰延ヘッジ損益	58	△20
為替換算調整勘定	580	58
退職給付に係る調整額	△20	△17
持分法適用会社に対する持分相当額	439	△107
その他の包括利益合計	1,088	55
四半期包括利益	1,868	5,616
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,687	5,584
非支配株主に係る四半期包括利益	181	32

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(取締役に対する業績連動型株式報酬制度)

当社は2021年5月20日開催の取締役会決議に基づき、当社の取締役（監査等委員である取締役及び社外取締役を除きます。）に対して、中長期的な業績の向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めることを目的として、株式報酬制度を導入しております。

1. 取引の概要

当社が設定する信託（以下、「本信託」といいます。）に金銭を信託し、本信託において当社普通株式（以下、「当社株式」といいます。）の取得を行い、取締役に対して、当社取締役会が定める株式交付規程に従って付与されるポイント数に応じ、当社株式が本信託を通じて交付される株式報酬制度です。なお、取締役が当該株式の交付を受ける時期は、原則として取締役の退任時となります。

2. 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額（付帯する費用の金額を除きます。）により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度296百万円、152,400株、当第1四半期連結会計期間296百万円、152,400株であります。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	砂糖事業	ライフ・ エナジー 事業	不動産事業	合計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	33,483	5,105	—	38,589	—	38,589
その他の収益	—	—	605	605	—	605
外部顧客への売上高	33,483	5,105	605	39,194	—	39,194
セグメント間の内部 売上高又は振替高	35	37	139	212	△212	—
計	33,519	5,142	744	39,406	△212	39,194
セグメント利益	360	127	172	659	—	659

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	砂糖事業	ライフ・ エナジー 事業	不動産事業	合計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	35,244	6,504	—	41,749	—	41,749
その他の収益	—	—	609	609	—	609
外部顧客への売上高	35,244	6,504	609	42,358	—	42,358
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8	38	181	228	△228	—
計	35,252	6,543	790	42,587	△228	42,358
セグメント利益又は損失 (△)	△41	348	194	501	—	501

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載の通りであります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。